



『いのちのために まじめに未来を考える。』

特定営利活動法人 生きものと食べものの未来

しつこく続いた暑さも、もう少しで終わりでしょうか？ 今年の「秋」は短そうなので、集中して楽しめないといけませんね。過ごしやすい季節の間に、仕事の方も、ばりばり進めたいものですね。生き食べ未来通信は、「特定営利活動法人 生きものと食べものの未来」の会員様にお送りしています。皆様との情報提供・交換の場となればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。では、「生き食べ未来 通信」4号をお届けいたします。

// // // // I N D E X // // // // // // // // // // // // // // // //

- ・巻頭言.....
- ・活動紹介..... 9月の活動実績/今後の予定
- ・会員企業様ご紹介..... 株式会社ママミール
- ・イベント情報..... 食品開発展2024
- ・コラム：私の提言..... 欧米の価値観による（進歩・発展）は何をもたらすのか
- ・食べものの紀行..... カフェパウリスタ
- ・9月にご入会いただいた方
- ・コーヒーブレイク..... 図書紹介
- ・編集後記.....



巻頭言



《生き食べ未来通信》9月号を読んだ読者から感想をいただいた。今まで反応がなく不安の中で出筆していたので少しばかり安堵しています。感想を寄せていただいた方々にお礼申し上げます。

9月12日 東京品川で開催された九州大学食糧化学工学分野の懇親会に出席した。50年前の在学当時からの伝統的行事、企業実地見学の中の最大イベントである。以前は、東京、大阪で開催されていたが、見学先が関東に限定のため東京のみの開催となっている。懇親会は盛大に催されたが、0Bの参加者が少なく、先輩と後輩との交流が細っているように感じた。先輩から積極的に名刺を受け取っている学生も少なかった。ほとんどの学生が修士課程を修了し、就職する現在、学部3年生にとって先輩は遠い存在だっただろう。

最近、身近な人とSNSで四六時中つながっている。情報は、グーグルで検索すれば24時間入手できる。参加者が少ないのは、先輩にとって後輩の学生との交流で得られる価値を見出さない結果なのであろう。また、タイパを気にする人が増えている。帰宅に時間がかかる関東圏で夜の会合に参加すれば、移動に使う時間を含めると確かにタイパが悪い。会社の業務命令や費用負担がなければ参加しないということならば残念なことだ。伝統をつなぐことに価値を見出す。後輩に自分の考えを伝える機会がある、自己満足ではあるが幸せなことだ。

最高齢の参加者として壇上で挨拶をした。

その中で、

1. 《NPO法人生きものと食べものの未来》を設立したこと。
2. このNPOは、職場から離れても『環境・食・農』、ウェルビーイング、社会的課題解決に向け今までに学んだ知見や培った経験と人脈を活かす、活躍できるフィールドとなること。
3. 卒業生や学生に『食の倫理と哲学』の重要性を伝えること。

特に『原材料の調達における倫理』、安い原材料を海外から輸入し、加工・製品化する。その過程で生じる大規模農業の森林伐採、耕作地拡大、単一作物の大量生産、それが環境悪化の主な原因である。また、せっかく製造した商品でも余ったものは食べられず廃棄される。それでも売上となり、会社は安泰なのである。参加者した多くの大手食品会社の社員にとって耳が痛いことである。しかしながら、それが真実でもある。食べものは、生きものの「命」をいただいている。そこには避けられない「残虐行為」がある。宮沢賢治の「よだかの星」ではないが、そのことを認識すべきである。話の中で、卒業生や学生に、『食の倫理と哲学』、こんな視点から現在の『食』考え、仕事や学びに活かす。うまく伝わったかはわからないが、そのことの大切さを伝えたかった。

《NPO法人生き食べ未来》が先陣となり農学部他学科に広がれば、『環境・食・農』への危機感を持ち、その解決に立ち向かう仲間が増える。在学中に学ばなかった『食の倫理と哲学』、このことの重要性を食に関わる学生や社会に提言していきます。

理事長 川上龍太郎

(注) 『食の倫理と哲学』は、検索しても出てこない私の造語である。





活動紹介

9月の活動実績

★九州大学食糧化学工学分野在校生及び関東在住卒業生との懇親会

日時：9月12日（水） 開始19時～

場所：東京都品川区品川港南口JOY SOUND

「九州大学農学部食糧化学工学分野 懇親会」に参加しました。

関東在住卒業生及び3年生60数名の参加者に対して《特定非営利活動法人生きものと食べものの未来》の紹介及び勧誘を行いました。

参加者にメッセージとして話した「研究を善悪で考える」は印象に残り、身に染みる言葉だったと引率された先生からメールが届きました。

★9月17日 会員からの商品の販路開拓などの相談のため会社訪問

★第2回生き食べ未来の集い

日時：9月23日（振替休日） 14時30分～

場所：福岡市中央区今泉1-19-22 西鉄天神クラス4階 あすみん



「食料問題にどのように立ち向かうのか」のテーマで、食料は潤沢に生産されているにもかかわらず必要とする人に届かない本当の原因や既に国内で発売されているゲノム編集食品、植物の〈知性〉など広範囲にわたり、解説と紹介及び質疑応答を行いました。

★9月25日 熊本で会員企業の商品開発に関する相談への対応

★9月26日 法人会員の（株）森光商店様及び（株）ママミール様を訪問

商品開発などに関する打ち合わせを行いました。尚、森光商店様とママミール様からは、毎月NP0活動へのご支援をいただいております。

今後の予定

★未来を担う理科好きの子どもへの事業

実験で理科の学習を深めよう！2024秋期開催

ぷよぷよを科学する

10/6 (日) 10:00~12:00

先着順 定員：30人
対象：小学生以上
大歓迎！

会場：あいくる（福岡市中央区今泉1-1-9-22 西鉄天神クラス7F）
参加費：300円（材料費の一部として、後日現金支払）
お申し込みの大人（保護者等）もご参加できます！参加あり！

ぷよぷよは、高分子吸水性ポリマーでできています。1gで500gの水を吸収します。そんなふしぎなぷよぷよを使って科学のふしぎに挑戦！

マジックにもなる内容です

大人も楽しめる内容です

詳しい内容とお申し込みはこちら！

主催：九州産業大学 生命科学研究科 2年、3年生
講師：佐藤 純子 子どものための最先端科学講座：本講座では子どもの好奇心を刺激し、科学的な思考力を育てることを目的としています。最新の科学技術や発見を紹介し、子どもたちが科学的な発見の喜びを体験できるようにします。

後援：福岡県、あいくる、生きもの食べもの未来館

実験で理科の学習を深めよう！2024秋期開催

偏光板で見えないものを見てみよう！

11/3 (日) 10:00~12:00

先着順 定員：30人
対象：小学生以上
大歓迎！

会場：あいくる（福岡市中央区今泉1-1-9-22 西鉄天神クラス7F）
参加費：300円（材料費の一部として、後日現金支払）
お申し込みの大人（保護者等）もご参加できます！参加あり！

スマホやテレビの画面に使われている偏光板のふしぎについて体験します。

水晶/プラスチック/水あめ/ガラスなどを観察できるキットを作ります

マジックのように見える不思議な現象が目の前に現れます

詳しい内容とお申し込みはこちら！

主催：九州産業大学 生命科学研究科 2年、3年生
講師：佐藤 純子 子どものための最先端科学講座：本講座では子どもの好奇心を刺激し、科学的な思考力を育てることを目的としています。最新の科学技術や発見を紹介し、子どもたちが科学的な発見の喜びを体験できるようにします。

後援：福岡県、あいくる、生きもの食べもの未来館

実験で理科の学習を深めよう！2024秋期開催

飛び出せ！3Dを科学する@あすみん

11/4 (日) 14:00~16:00

先着順 定員：30人
対象：小学生以上
大歓迎！

会場：あすみん（福岡市中央区今泉1-1-9-22 西鉄天神クラス4F）
参加費：300円（材料費の一部として、後日現金支払）
お申し込みの大人（保護者等）もご参加できます！参加あり！

赤青ライトとメガネで3D装置を自作し3Dを体験！

立体視できる理由を学習します。たくさんの展示物で3Dを体感し、理解を深めます

詳しい内容とお申し込みはこちら！

主催：九州産業大学 生命科学研究科 2年、3年生
講師：佐藤 純子 子どものための最先端科学講座：本講座では子どもの好奇心を刺激し、科学的な思考力を育てることを目的としています。最新の科学技術や発見を紹介し、子どもたちが科学的な発見の喜びを体験できるようにします。

後援：福岡県、あいくる、生きもの食べもの未来館

どの活動も、
応募を開始しており
まだ空きがございます。

ぜひ、お知り合いの方に
詳細のサイトをシェアして
いただけましたら幸いです！

①10月6日（日）10時～12時 『ぷよぷよを科学する！』

募集：先着順 定員：30人

参加費：300円（支援金を受けておりますので、お安くなっております）

場所：[あいくる（福岡市中央区今泉1-1-9-22 西鉄天神クラス7F）](#)

ぷよぷよすくいや消臭剤に使われているビーズは、高分子吸水性と言われ 1gで500gの水を保てます。そんなふしぎなビーズを使って科学のふしぎに挑戦だ！ 詳細は、[こちらから](#)。



②11月3日（日）10時～12時 『偏光板で見えないものを見てみよう！』

募集：先着順 定員：30人

参加費：300円（支援金を受けておりますので、お安くなっております）

場所：[あいくる（福岡市中央区今泉1-1-9-22 西鉄天神クラス7F）](#)

スマホやテレビの画面に使われている偏光板のふしぎについて体験します。

水晶/プラスチック/水あめ/ガラスなどを観察できるキットを作ります。詳細は、[こちらから](#)。



③11月4日（祝日）14時15分～16時15分 『飛び出せ！3Dを科学する』

参加費：300円（支援金を受けておりますので、お安くなっております）

場所：[あすみん（福岡市中央区今泉1-1-9-22 西鉄天神クラス4F）](#)

赤青ライトとメガネで3D装置を自作し3Dを体験！

立体視できる理由を学習します。たくさんの展示物で3Dを体感し、理解を深めます。詳細は、[こちらから](#)。



★九州産業大学 生命科学部生命科学科2年、3年生を対象とした講義

日時：11月15日（金）

テーマ：「食の倫理と哲学」

★第3回『生き食べ未来の集い』は、12月若しくは1月実施予定





会員企業様ご紹介

株式会社ママミール（福岡市南区横手2-9-13）代表取締役 畑中章宏 取締役 進藤浩子



画像はWEBサイトより

ママミール社は2010年11月、株式会社はたなか（産業給食弁当製造）から幼稚園給食部門を独立・分社化し発足。

2005年7月にHACCP認証を取得（当時は、(株)はたなか第2工場）、現在も維持継続中。

福岡市内・外の幼稚園への給食サービスや食育推進に取り組んでおり、特に食育については、提供する給食の安心・安全はもとより、コラムや月間献立を栄養バランスや地産地消なども意識しながら分かりやすく情報を提供しています。

ママミールという社名には、お母さんが作るお弁当のようにやさしく・おいしい・愛に満ちたお弁当をお届けしたいというとても強い想いが込められています。（HPより参照）

*次回はその食育レポートを掲載予定。

ホームページ <http://www.mama-meal.com/>



会員の方の投稿、おまちしております！
こちらまで、メールでどうぞ！

info@npo-ikitabemirai.org



イベント情報

食品開発展2024

日時：10月23日(水)～25日(金) 10時～17時

場所：[東京ビッグサイト 西1・2・4ホール&アナトリウム](#)



画像はWEBサイトより

西4ホールではゲストスピーカーによる特別プレゼンが連日行われます。

行政やマーケティングの専門家による最新トピックスをお見逃しなく。

◇[入場には事前登録](#)が必要です。

*詳しくは、WEBで (<https://hi-japan.info>)



コラム：私の提言

欧米の価値観による（進歩・発展）は何をもたらすのか。

社会が進歩すればするほど格差は広がる。資本主義経済は、資本の拡大再生産を通じて成り立つものであり、このことを通じて、人類は発展・進歩、豊かな社会を築き、生み出された富は広がり、みんなに分配されてくることを信じて、資本主義社会を是認してきた。しかし、現実には進歩・発展すればするほど、富は集中したのである。今日では、GAFAMのように情報を制した者が国家を凌駕するまでに巨大化してしまっている。

遅れていると言われるグローバルサウスの国家は、欧米に比べ一人当たりの所得は低い。しかしながら、そこに暮らす人々が今、不幸を感じて、これからも不幸な人生を送るのであろうか。キリスト教が中心の欧米諸国は児童労働をこどもの虐待として非難する。仏教中心の東南アジアでは、子どもが親の仕事の手伝いをする。手伝いを通じて生き方を学ぶ。農家では農作業を通じて田植え、稲刈り、収穫を体験し、学び育っていく。少し前までは日本の農村地帯ではあたりまえのことであった。今のアフリカでは、子どもが水運びやコーヒーやカカオの収穫を手伝うのは児童労働・虐待になるのだろう。ILOは、15歳未満の子どもの就労が義務教育を受けられないと厳しく制限し、原則禁止し児童虐待にあたるとしている。厳しい環境の中で生きるために、子どもに仕事の手伝いを通じて教えることはあたりまえのことである。

働くことは、昔から日本では奉仕であり美德であった。欧米では働くことがLabor（レイバー）であり苦役なのである。だから、欧米では働かないで儲けることを優先するのである。

敗戦・戦後の日本や欧米に植民地化されたアジア諸国では、欧米の文化・価値観がすぐれており、自分たちの宗教や哲学を価値観が劣っているとした教育を行ってきた。それが現在大きな弊害を生んできている。今でも多くの日本人の中に白（白人）崇拝、欧米に対するあこがれと劣等感が残っている。幼児・小学校での英語教育は最たるものである。

欧米諸国は、長きに亘って、アジア、アフリカ、世界中を植民地化し、支配し、収奪し、自国のみが繁栄することを是とした時代があった。明治以降それを真似したことが日本の誤りの始まりであった。欧米の植民地から解放し、大東亜共栄圏を築き、近隣のアジアの人たちが共存共栄していく考え方は正しい、ここで留まっていたなら尊敬される日本になっていただろう。歴史に「たら、れば」はないが私はそう思うときがある。

英語は26文字、侵略し支配していくために都合の良い言語である。被支配者に覚えさせることが簡単である。日本語は、世界でも難しい言語とされている。侵略・支配することが難しい。そのためアメリカは日本の公用英語化をあきらめざるを得なかったのである。

高齢者の増加や社会の進歩に伴い、エッセンシャルワーカーの需要が増えている。担う人材は非正規雇用者労働者がほとんどである。ワーカーと呼ばれる限り、作業中心の仕事であり、そこに頭脳を使った創造性は存在しない。低賃金にならざるを得ないのである。戦後、日本の稲作中心の農業が破壊され、離農した人々は、都市労働者、工場労働者となったのである。これからAIやDXが進歩すればするほど、溢れた人が非正規雇用者となり、エッセンシャルワーカーとなるのである。資本主義社会の宿命である。一方、その中で情報を操りAIなどを使いこなすほんのわずかな人々への富の集中が急速に進んでいる。「簡単」「便利」で「安い」を求めることはあながち間違っていない。それを求め続けてきた結果、GAFAMに支配され、生成AIまでもが出現する時代となった。月に、火星に人類が移住することを真剣に考える富を得た人たちが現れている。何のためか。環境破壊で住めなくなった地球から脱出するためか。今ここで、技術進歩が行く着く先はどこなのか、どんな世界を目指していくのか、環境破壊も貧困も元凶は欧米の価値観であるそんな気がしてならない。

今、日本人として立ち止まって考えるときが来たと感じるこの頃である。



食べもの 紀行

旅や出張に無くてはならない物、食事！その食事を更に満喫させるものが、食後のデザート&飲物、そういう面では、東京の銀座8丁目の『[カフェパウリスタ](#)』は秀逸です。



画像はWEBサイトより

1911年創業の老舗カフェ。ハウスブレンドコーヒー、パンケーキなどのデザートを提供してくれます。

提供してくれるコーヒーやデザートの美味しさは、さることながら、そこで働いている人のお客様へのちょっとした思いやりが素晴らしい。ある時、少し歩くのが不自由な方がお店を出る際に出口のドアを開けて差し上げる、そこまでは普通。その後、頭を軽く下げてお礼を。

その一連の動作がさりげない。普段からそうされているのが感じられる。
みなさんも一度お立ち寄りになってはいかがでしょうか。



9月にご加入いただいた方

株式会社サン・セール様（福岡県行橋市）

アイパックス日野出株式会社様（福岡県福岡市）

ご加入ありがとうございました。

住所は、居住地又は勤務先の住所を表示しています。





コーヒーブレイク

◆図書紹介：今月は『生き食べ未来の集い』で参考にした図書を紹介します。

植物は〈知性〉をもっている 発行所 NHK出版



植物の感覚は、人間よりずっと鋭く、私たちが持っている五感以外に、少なくとも15の感覚をそなえている。重力、磁場、湿度、……。ほかの植物、昆虫、動物と互いに作用しあい、化学物質を使ってコミュニケーションをはかり、情報交換をしている。地球上の多細胞生物の99%を占めている植物に地球上のあらゆる生命体が依存して生きている。

理系で知的好奇心旺盛な人、SDGsや環境問題に興味がある方に薦める一冊です。

ルポ 食が壊れる 私たちは何を食べさせられるのか？ 著者：堤未果 発行所 文藝春秋



『食の倫理と哲学』を考えるきっかけとなった1冊です。遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品、培養肉、最新のフードテック、研究者がのめりこんでいくのはなぜか。研究者に巨額の資金援助するビルゲイツなどのGAFAMの次のターゲットは何か。地球温暖化、食糧危機、貧困、全ての解決の為に「大義名分」を振りかざし、国連や国家を牛耳る取り組みの真の目的は何か。

誤りを指摘するとともにこれからの方向示唆している。

後半では、有機農業、微生物の力、アグロエコジー、地道に取り組む人々を紹介しています。農・食に関わる方々、学生の必読書として推薦します。





編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

9月23日に行いました、第2回生き食べ未来の集いにおいでいただいた会員様が、熱心にメモを取っていらした様子が、とてもうれしかったです。終了後は、お話もでき、あらためて、相互の情報交換ができることが、当NPOにおいても、とても有意義なことだと思えました。

次の11月号から食にかかわってきた理事・会員が得意とする分野のお話をします。ご期待ください。これからも、「特定営利活動法人 生きものと食べものの未来」と生き食べ未来通信を、よろしくお願いいたします。

会員の方々からの、投稿をお待ちしております。

テーマは、環境・農・食、教育、福祉など何でも構いません。

企業のご紹介やイベントのおしらせ・よろずご相談などなど、どうぞお気軽に下記メールまでお知らせください。



info@npo-ikitabemirai.org

WEBサイト・FBページ・インスタ もあります。 マークをクリックして、覗いて見てくださいね！



(く)

令和6年10月 発行責任者 川上龍太郎